

みなさんからのご意見を紹介します

※ご意見は、紙面の関係上、抜粋して紹介するとともに、一部修正しています。

Voice

鳥取市が誇る全国ブランドの観光地は「鳥取砂丘」であり、観光客倍増をめざすのであれば、もっと強力な施策展開を示すべき。

計画へ反映

施策を展開していく中で、変化する観光客ニーズに柔軟に対応しながら、より効果的な施策へとつなげていきます。

Voice

障害の状態に応じた適切な就学指導体制を確立していくのではなく、一人ひとりの教育的ニーズに応じた就学支援体制を確立していくべきものである。また、「障害児教育の充実」は、近年の状況から「特別支援教育の充実」へと訂正すべきである。

計画へ反映

就学指導体制については、「生活や学習上の困難を抱える児童生徒一人ひとりの教育ニーズを把握し、適切な教育や指導を通じて必要な支援を行う就学支援体制を確立する」に改め、障害児教育の充実については、「特別支援教育の充実」と訂正します。

Voice

住民が相談したり、集まって話し合う場所に行政が目をつけていく必要がある。地域住民のコミュニティをどうつくっていくか、地域の特徴を生かし、住民自治をどうつくっていくか、これに目を向けないと過疎が進んでいく。それには、定年退職した人たちの力を活用していくことが必要である。

計画へ反映

このことを踏まえて、コミュニティ活動の促進、コミュニティ活動の主体性を高めること、防災、地域福祉、高齢者、地域文化などに関する施策について、多面的に進めていく考え方を示していますが、各事業を推進していく中で参考にします。

Voice

市民と行政との協働、産学官連携といった言葉はあるが、地域経済を活性化させるため、中小企業、起業者、空き店舗活用などにおける地域密着型の金融機関としての機能強化といった観点の記述がない。

計画へ反映

「鳥取商工会議所や各地区商工会、鳥取県中小企業団体中央会などの経済団体、地元金融機関など、関係機関との連携を図り、経営基盤の強化を図ります」と加筆修正します。

Voice

10年先には、65歳以上の高齢者が4人に1人となる。市役所の中に、高齢者事業部といった、高齢者をターゲットにした組織を考えてもらいたい。そこで、健康や福祉、文化の問題などを含めて業務を行ってはどうか。

計画へ反映

多くの経験や知恵をもった高齢者のみなさんが活躍できる社会参加の場づくりは、今後一層重要になってくると考えられます。高齢者行政の一元化については、検討を進めます。

市民のみなさんの意見を反映



10年間の基本的な政策を示す「基本構想」(案)と5年間の各分野の主要な施策を示す「基本計画」(案)を、昨年10月から約1カ月間、市民のみなさんへ公表し、市民政策コメントによる意見を広く聴きました。

市民政策コメントでは、市民のみなさんや団体から、市が政策を進めるにあたっての全体的なイメージから、具体的な事業の進め方にいたるまで、幅広い分野

にわたり、140件もの多くの意見が寄せられました。

この中で、計画に盛り込んだもの、あるいは今後の事業推進に参考となる主要ものを紹介します。

なお、この市民政策コメントの概要は、市のホームページに掲載しています(アドレスは23ページ参照)。